工業っ子

No.130
―発行日―
2016.4.20
―編集―
長崎工業高校新聞部
―発行―
長崎工業高校新聞部

321人の新入生来たる！青春を楽しもう

緊張の瞬間 合格発表

三月十六日、本校体育館にて行われた合格発表。自分の番号を見つけて周りの人たちと喜びあったり、親に連絡したりと喜ばしい表情をしていた人達がいた一方で、自分の番号が無く涙ながらに帰る人もいました。

受験番号の書かれたパネルの周りには合格者と保護者の喜ぶ姿が見られました。そこで、合格が分かった直後の想いをそれぞれに聞いてみました。

▲ 果たして結果は…!?

生徒へのインタビュー

Q今の気持ち
―嬉しい/ホッとしている/第二希望だったけど入れてよかった/第一希望ではないが嬉しい/安心した/制服を着れるのが嬉しい

Q今食べたいもの
―アイス/ステーキ/シュークリーム/洋食/肉/何でも/クレープ/軽いパン/稲穂焼き

Q高校生活の抱負
―両立/学科トップ/資格取得/勉強を頑張る/行事などをいっぱい楽しみたい/今は何も考えられない/資格をたくさんとって良い就職先につく/長工に入って夢を叶えるために一生懸命頑張る/部活と勉強の両立

保護者へのインタビュー

Q今の気持ち
―ほっとしている/合格してくれて助かった/一生懸命勉強した事が救われた/良かった/安心した/楽しみながらたくさんの資格をとってほしい

◀嬉しい声を聞きました

Qこれから頑張ってほしいこと
―両立/三年間友達に恵まれて楽しい学園生活を送って欲しい/真面目に学校で習った事を身につけて欲しい/目標・夢を見つけてほしい/勉強/くじけず前向きに頑張ってほしい/自分の好きなことをやりたいようにやってほしい/夢を叶える為の教育

Q長工に期待すること
―色んな資格を取らせてほしい/わからない/なりたい職業に就かせて欲しい/社会に出て役に立つように教育して欲しい/しっかり子供を見て欲しい/めいいっぱい子供たちと関わってほしい

熊本地震で感じたこと

「備えることの大切さ」

四月十四日の晩、突如熊本で起こった大型地震。私は警報が鳴り出しても、突然のことに驚き、何の身動きもできませんでした。普段、ニュースを他人事のように聞いていると、自分に危機が迫った時に行動することは難しいということが分かりました。

テレビの報道で「前震が来た時に避難を考えたが、電気が復活したこともあり、家に残った家族。その直後、本震で家が崩壊し、母親が犠牲になった」という悲しい話がありました。娘は避難しなかったことを深く後悔していました。もし私も同じような状況だったら、自分は大丈夫だろうと避難していなかったと思います。たった一回の選択が運命を大きく左右することを改めて感じました。非常時に最善の選択をするためには、周りを見て冷静に判断する力が必要だと思います。普段からの備えが大切なことを痛感しました。（平松）

「私たちにできること」

今回の地震の被害を見て皆さんは何を感じましたか。現地の知人の無事を祈る人、自分の住む場所に大きな被害が出ず安堵する人、何も出来ない自分に憤りを感じる人などいろいろあると思います。今回の震災を受け私は自分の無力さを痛感しました。

インターネットをいつものように覗くとそこにあるのは悲惨な光景ばかりで店内の商品が散乱していたり、家が崩壊する動画、その下敷きになった母を呼ぶ子供達の声。こんな状況で何もできないのが腹立たしく思いました。同じ九州ということもあり、よりその思いが強く感じました。まだ地震が続くなか、私達に出来ることは何でしょうか。今すぐにできること、これからできることなど皆さんで考えてみませんか。（溝上）

入学式 ～新たな出会い～

四月八日に本校体育館で入学式が行われました。今年は三百二十一人と一人多い入学式となり、私たち二、三年生も行った担任の先生による点呼や、代表者による挨拶が行われたりと、新入生一同終始緊張した様子で式が終わりました。

今年は保護者の方にもたくさんお話しが聞けました。子供の高校生活に期待する親が多く、無事合格できてほっとした様子でした。これから三年間、目標に向かって頑張りましょう！

◀新入生代表情報技術科石橋涼輔さん

◀緊張した様子の新入生

質問内容
①どんなクラスにしたいか
②これから楽しみなこと

▼一年生担任の先生にインタビューをしました。

新しい環境にワクワクしたり緊張したのは生徒だけではないはず。新入生の担任になられた先生の中にも新しい生徒の姿に「どんな生徒だろう」や「こんなクラスにしたい」などと思ったことではないでしょうか。

そこでそれぞれの担任の先生にインタビューをしました。質問内容は少し少なめですが、先生にとっては目標のようなものだと思うので生徒達も頑張っていきましょう。

M科 松尾先生
①自律したクラス。担任がいなくても動けるクラス。
②一人一人の良い所をたくさん見つけること。

P科 小林先生
①情熱のP。
（Passion）
②生徒とのキャッチボール。（反応や提案があったら嬉しいですね）

E科 築山先生
①一人一人が自立して、お互いが尊重し合い、共に成長できるクラス。
②みんながどれくらい成長していくかを楽しみにしています。

C科 矢島先生
①明るく楽しいクラス。
②毎日の授業。

A科 杉本先生
①仲の良いクラス。
②遠足。みんなとの仲が深まればいいなと思っています。

I科 林先生
①あたりまえのことを当たり前に出来るクラス。
②クラスの色を出してほしい。

D科 宮崎先生
①体育祭で一位をとるようなクラス。
②六月にある第二種電気工事士の全員合格。

J科 白石先生
①学びあい、助け合うクラス。
②感動で泣かせてほしい。
やはり八つのクラス、それぞれの先生がそれぞれの目標を持っています。これからは先生と協力して特色あるクラスにしていきましょう。
最後にインタビューにご協力いただいた先生方ありがとうございました。

今日の一枚 ～ど～こだ～

▼花に群れる蝶のごとく

新入生が入学して新長工が始動。はたして新聞部の部員は増えるんでしょうか……。

さて、今日の一枚はとある場所に花を咲かせていたつつじです。このつつじがどこにあるのかわかりますか。綺麗な赤色の花を誰の目にも触れることがないであろう場所に密かに、必死に生きていました。風に吹かれなびいている姿はまさに生き物のようで。

この花は皆さんの目にはどのように映っていますか。（溝上）

青春日記♪

新入生の皆さんようこそ長工へ。どうぞよろしくお願いします。お前は誰だって？それは新聞部に来てからのお楽しみ。部活動編成楽しみに待ってるヨ。

最近よく心配されます。顧問からは挨拶感覚で元気かと聞かれ、担任からは変な物でも食べたのかと言われ…（いや真っ当な物を食べてますから）加えて、記事の分担では負担になるからと担当から外されてます。いったい皆さん、どうしてしまったのでしょうか。そこまで心配されてしまうと、本当に私がどうにかなったのかと思い込みそうです。いやいや、元気ですよ。寧ろやる気に満ち溢れています。三年になり、やらなければならないことが増え、おまけに後輩が増えるかもしれないときた。どうか私に仕事をくれないかとお願いしたいくらいです。

と、いうわけで後輩に私に対してどんな印象を持っているか聞いてみることに。「無邪気でまるで同級生、尊敬できる、のほほ～ん、アニメの主人公（ギャグ）」。おう、言ってくれるじゃねーかお前たち。今度の添削は厳しめかつ意地悪にしてやろう。その他色々言われましたが、概ね好印象ということで満足な結果を得られました。しかし「頼りになる」の「た」の字もかすらなかったのが残念です。来年の卒業式に、泣いて行かないでと言われるくらいの人物になりたいと思います。

さて、自宅玄関に新たに一足のローファーが仲間入りしました。どうやら私の弟も高校生になったようです。急いで家を出ようとするときに限って彼の靴を履いてしまいます。その度に、「足の大きさだけは負けてないからな！」と心の中で嘆きます。はい、察してください。（松尾）

長工へようこそ！

十八名の先生との新たなる出会い

新年度が始まり、長工に新しく十八名の先生方がやって来られました。今年は先生方全員にインタビューしました。

質問内容
①長工の第一印象は
②これから楽しみにしていること

●大坂良一副校長先生（先生）
①大きい。有名。頑張っ
▶よろしくお願いします！

●加藤倍敬教頭先生
①密度が濃い。
②生徒達の活躍。

●新木武士先生（社会）
①元気そうなイメージ。
②電気製品が壊れたときに修理してくれる。

●前川明先生（機械）
①五年前にもいたが、変わらず生徒が頑張っている。
②早く生徒と一緒に過ごして頑張りたい。

●山口和利先生（電子工学）
①きれいな学校。
②生徒と一緒にものづくりをすること。

●西敏春先生（電気）
①よく勉強しそうな生徒がいそう。
②日本一なれる大会などがふえること。

●菅崎直宏先生（保健体育）
①ヤンキーがいないから生徒が工業人っぽくない。
②まだよくわからない。

●塚原美智先生（英語）
①大きな学校。
②一緒に英語の授業を楽しみたい。

●平康太郎先生（機械システム）
①十年ぶりで懐かしい。
②部活を頑張る。

●宮崎琢己先生（電子工学）
①校舎が五階まであって高い。
②長崎一の工業高校なので共に日本一を目指すこと。

●築山主先生（電気）
①活気がある。
②サッカー。

●小林雄介先生（機械システム）
①人が多い。
②生徒とのふれあい。

●砂田一歩先生（英語）
①生徒が多い。
②体育祭、文化祭などの行事。

●平沼晃佑先生（建築）
①広い。
②元気な生徒と触れ合うこと。

●吉田律子先生（事務）
①大変な学校
②工業高校という特殊な学校を知れること

●高西正隆先生（事務）
①大きい学校。
②生徒に会うこと。

●古賀孝一先生（機械システム）
①広い。
②学校生活。

●中村比勇先生（理科）
①でかい。人が多い。
②歓迎遠足。

▼大坂 副校長先生

▼加藤 教頭先生

長工生勢ぞろい！対面式

四月十二日に対面式が行われました。体育館には新たな一年生を加えた多くの長工生で溢れていました。式では生徒会長からの歓迎の挨拶や行事説明があり、それに対して一年生の学年代表である情報技術科石橋涼輔君がお礼の言葉を述べました。式の終わりには新入生を歓迎するかのように二、三年生がタフネス長工らしい元気な声で校歌斉唱。その姿に新入生は驚きを隠し切れなかった様子でした。

まだまだ環境の変化に慣れていない様子の一年生。この式を機に、この長崎工業でたくさんの経験を積み、技術を磨き、楽しく充実した毎日を送って欲しいと思います。

▼生徒役員紹介の様子

図書館編 てふ工生！！！ パート②

～コミックエッセイに…～

※新たな出会いを求めてぜひ図書室へ

シリーズ ロボコン道

イメージの共有

さて、ルールが発表されてから早三週間。今年も二台作ることに決まり、現在はそれぞれの班に分かれてディスカッション中です。今年はどんな機構が出てくるのか？とても楽しみです。

オフシーズンの話し合いの中で「イメージの共有ができていない」という問題点が挙がりました。その問題を解決するために図面を書いてそれでロボットのイメージを掴むということです。実際にこの効果は実感できていて、各機構がどこにあり、どういう動きをすると説明するのに大変役に立っています。（草場）

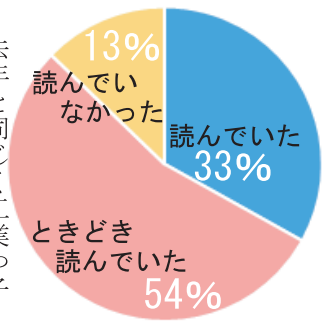
▲子機の断面図

工業っ子アンケート！ 毎年恒例！

約9割の生徒が読んでいました！

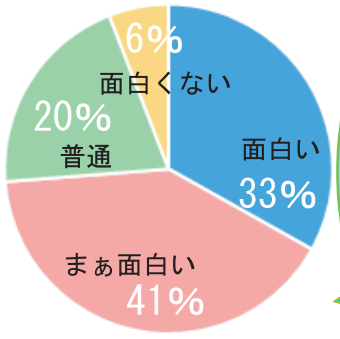
二月の卒業生アンケートと同時にとった「工業っ子」アンケート。卒業生三百十一人中三〇五人から回答をいただきました。毎年、新聞部員の励みとなっているこのアンケート。二十七年度の三年生は工業っ子をどんなふうに読んでくれていたのでしょうか！

Q1 工業っ子は読んでいましたか？



去年と同じく工業っ子を読んでいる人が全体の九割を占め、新聞部一同とてもやって良かったという気持ちで心がいっぱいです。読んでいてくれている人の内三十三%が忙しい中読んでいてくれていました。来年は読んでくれる人を十割に出来るような新聞作りをできるような心意気で頑張ります。

Q2 工業っ子は面白いですか？



「面白い」「まぁ面白い」と答えた人が約七十四%で去年より少し少ないですが、我々新聞部にとってはそれでも嬉しいかぎりです。しかし「普通」「面白くない」と答えた方が約二十六%と少なからずいます。我々新聞部は、読者にいい意味で面白く読んで頂けるように書いていきます。つまらなくせず、読みやすく、そしてもっとたくさんの人に面白く思ってもらえるように書いていきたいと思います。

Q3 お気に入りのコーナーや記事

工業っ子には毎回恒例のコーナーがあり、それぞれとても個性が溢れていてとても評判が高いです。その中で最も人気がある順ベスト3を載せました。

第一位
・四コマ～てふ工生～
第二位
・各インタビュー
第三位
・青春日記

一位はなんとダントツで四コマ百十二票！その他の票よりおよそ百の差もありました。その他には部活動、一年生な日々、科の紹介などもあり記事すべてが面白いと嬉しいことを書いてくれた方もいました。

毎年いろいろなインタビューに協力していただきありがとうございます。集計のたびにバタバタしているような気がします。今後とも工業っ子をよろしくお願いいたします。

二年生な？日々

入学式も無事に終わり校舎の様々な所から賑やかな声が聞こえる季節。新たな仲間も増え、長工三学年がそろい、新学年としての新しい生活が始まりました。一年生の皆さんは長工にはもう慣れましたか。我々新聞部にも大きな変化が起きようとしています。それは、新聞部の一大イベント！部活動編成です。他の部活動も楽しみにしていることでしょう。たくさんの部活動がある中で一つの部活を選ぶのは大変悩むことであり、高校生活を大きく左右します。その選択の一つに「新聞部」を考えてくれると嬉しいです。「新聞部」は字の通り新聞を作る部ですが記事を書くだけはありません。記事はもちろん絵写真やデザインなど、することはたくさんあります。ですから国語が苦手な人でもすることができます。絵を描くのが好きで特に四コママンガを描きたいと思う人、デザインがしたい人、写真を撮るのが好きな人、少しでも「新聞部」に興味があったら、兼部もできるので考えてくれるとうれしいです！今読んでくれている貴方と楽しく賑やかに活動できることを楽しみにしています。

新聞部一同

編集後記

今回初めて編集を行いました。凄い大変でした。何も分からない状況だったのでご指導いただいた先輩方や先生には頭が上がらないです。次も頑張ります。